

# 2011年度 NPO 法人びーのびーの活動報告・会計報告

## [2拠点]

1. 子育て支援施設「おやこの広場びーのびーの（菊名ひろば）」（横浜市子ども青少年局委託事業 親と子のつどいの広場事業）
  - ①みんなで一緒に育ちあい育てあう「ひろば」がどんな親子にも心地よい場であるために、「遊ぶこと」「食べること」「眠ること」といった子どもの日常を大切にしながら場づくりを行った。
  - ②スタッフはそれぞれの親子に寄り添い、必要な支援していくことで、子どもたちがありのまま育っていけるよう家族をバックアップすることをこころがけた。
  - ③「3・11」以降、親たちの心の揺れをどう支えていけるか模索。幼い子のいる家庭に必要な備えについて考えたり、放射線についての思いを語る「防災について考える会」を月に一回開催した。
  - ④一時預かり事業をさらに質の高いものにするために、あえて対面式での登録、予約を行った。会員家庭としっかりコミュニケーションをとることで、それぞれの親子の状況に寄り添った預かりの時間を提供できるよう努めた。
2. 港北区地域子育て支援拠点「どろっぴ」（港北区地域子育て支援拠点委託事業）
  - ①親子の居場所：多様な利用が増える中、同じニーズ、共通課題を持つ親同士のつながりを作るためのプログラムを構築し、親同士が支え合える場としてのコーディネートを実施。利用者が得意分野を活かし、居場所の環境作りから参画できる場を提供し、共に築く場であることを投げ掛けてきた。また、コンセプトである「子どもがまん中」に重点を置き、子どもの育ちを意識した具体的なプログラムにも着手しつつ、日常的に子どものありのままの育ちを認め合える場の提供を心掛けてきた。
  - ②情報収集・提供：地域訪問では拠点もつ情報を持参し、来所が困難な方も含めて必要な情報が入手できるように配慮。イベントではスタッフが出向くと同時にパネル展示も行い、拠点の周知に努めた。ココメーの周知を始め、子育て支援従事者からの情報入手も積極的に行い、双方が情報交換できる仕組みを構築。
  - ③ネットワーク：マップ、公園分科会を継続的に支援し、新たな支援の形を検証。父親プログラムでは地域ごとの課題を挙げてもらい把握に努めた。保育園実習やサロン訪問、地域ケアプラザとの連携を深めてきた。
  - ④子育て相談：状況に応じて個別相談につなぎ、その後のフォローについては相談スタッフとの連携の中で進めている。相談を気軽に利用できるよう相談員の自己紹介やシステムを掲載。臨床発達学会などへの実践発表にも取り組む。
  - ⑤人材育成：子育て家庭からのボランティア登録も増え、一般ボランティアとの交流であり異世代交流が成されている。
  - ⑥子育てサポートシステム  
ア提供会員の少ない地域での出張説明を行い、それと同時に子育て支援に関わる関係者にも周知できるように努めた。イ説明会、個別説明時に子育ての状況や緊急であることを見極めながら、それに応じた支援ができるように心がけた。ウ預けることに不安な利用会員、預かることに自信がない提供会員に向けて、どろっぴでの「おためし保育」の預かりを積極的に声掛けし、コーディネートした。エ「見える子サポ」を目指し、視覚的普及ツールとしてDVDを完成。

## [6事業]

1. グループ保育「ゆーのびーの」

12名、年度途中で退会があったが、大きな怪我もなく、1年間を終えることができた。週1回の保育だが、1年間の関係性の中で子どもたちは、たくましく成長した。同時に保護者支援、子どもの就園支援なども行い、きめ細やかな保育を心がけた。
2. 出版・制作・企画事業
  - (1) 「びーのびーの幼稚園・保育園ガイド」の発行（年1回）2012年度入園版（通算12冊目）を発行（5月28日）。発行部数：2500部 196ページ 販売価格：830円
  - (2) 地域子育て情報誌「びーのびーのおでかけマップ」を発行（12月）。（平成23年度よこはまふれあい助成金）
  - (3) びーのびーのシンポジウム
  - (4) 制作：白瀧宏子氏「ぎゅうにゅうパックはおもちやばこ」A5サイズ16ページ
3. インターネット事業
  - (1) 港北区子育て応援マップココマップ（ウェブサイトの編集・制作・運営）  
開設：平成17年度 ウェブサイトの編集・制作・運営（0歳～6歳までの子どもの子育て情報に特化した『子育て応援サイト』、イベントなど地域の情報を提供）登録編集委員：21名、編集会議：月1回。更新回数：トップページ24回、イベント・クチコミ情報48回、特集ページ、季節情報など10回※ココマップ紙版発行（12月）
  - (2) トレッサ横浜HP内「とれおんパーク」ブログ記事制作 トレッサ横浜委託事業 更新記事：計167本
4. 事務請負・コンサルティング事業
  - (1) 子育てタクシー：サンタクシー株式会社による「子育てタクシーサービス」に提携。
  - (2) 子どもと保育総合研究所事務局：子どもと保育総合研究所の事務局としての機能。
5. わくわく子育てサポーター事業：平成23年度は、国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成事業として実施した。活動のべ実績88回・参加学生32人・参加家庭20軒。
6. 菊名WARA・びー実行委員会：井戸水を利用した「打ち水大作戦」に子どもたちと参加。（港北区地域のチカラ応援事業）

## [その他]

- 1 びーのびーの通信の発行、2 絵本部会、3 法人独自インターンシップ受け入れ、4 「ひろば」人事業
- 5 学生による子育て家庭支援力 調査事業
- 6 表彰・総理来訪
  - (1) 横浜市男女共同参画貢献表彰「推進賞（団体）」を受賞（3月7日）。
  - (2) 野田佳彦内閣総理大臣と連舩内閣府特命担当大臣がどろっぴを来訪（10月14日、役職は来訪時のもの）。

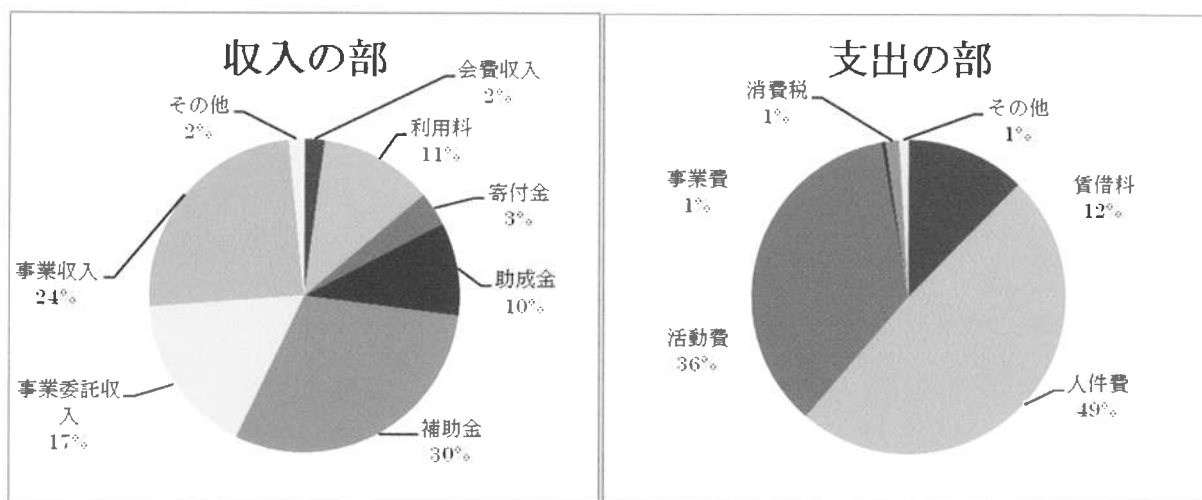
◆2011年度収支計算書（2011.4.1～2012.3.31）単位（円）（「どろっぷ」を除く）

収入の部

会費収入	483,000
利用料	2,673,100
寄付金	805,875
助成金	2,221,500
補助金	6,894,000
事業委託収入	3,813,200
事業収入	5,626,339
その他	363,840
収入合計	22,880,854

支出の部

賃借料	2,606,000
人件費	10,393,359
活動費	7,601,008
事業費	99,263
消費税	294,300
その他	209,455
支出合計	21,203,385
収支差益	1,677,469



◆2011年度 ボランティア活動実績

活動場所		活動時間	延人数
ビーのビーの	一般・親子ボランティア	549 時間	167 人
	学生ボランティア	939 時間	255 人
どろっぷ	一般・親子ボランティア	1,673 時間	671 人
	学生ボランティア	854 時間	197 人
総計		4,015 時間	1,290 人

【年間総計】

- 一般・親子ボランティア  
2,222 時間 延べ 838 人
- 学生ボランティア  
1,793 時間 延べ 452 人

◆あたたかいご支援ありがとうございました

会費のほかに協力金を頂いた方々（敬称略）（ビーのビーのスタッフ・ボランティア名簿記載者を除く）

《2011 年度》

安達浩・川島敏子・鴻池弘子・妹尾信二・関谷容枝・中山幸子  
松下久仁子・よねもと耳鼻咽喉科

（五十音順）

《2012 年度》（2012年5月末現在）

安達浩・大槻美沙子・川島敏子・高坂千晶・鴻池弘子・関澤有香  
関谷容枝・牧野カツコ（五十音順）

2011 年度寄付を頂いた方々（敬称略）（ビーのビーのスタッフ・ボランティア名簿記載者を除く）

オーブ宮前まつり・佐賀市役所子ども局・那珂川町健康福祉部・ひろば人参加者（伊藤・佐々木）  
冒険遊びの場

（五十音順）